

2024年3月期 決算ダイジェスト



1. 損益の状況	1
2. 貸出金の状況	2
3. 信用コストの状況	4
4. 不良債権の状況	5
5. 有価証券の状況	7
6. 預金（譲渡性預金を含む）の状況	9
7. 預り資産の状況	10
8. 自己資本比率	11
9. 業績予想	12

1. 損益の状況

(単位：百万円)

		2024年3月期		2023年3月期
			2023年3月期比	
経常収益	1	10,465	578	9,886
(貸出金利息)	2	7,543	76	7,467
(有価証券利息配当金)	3	555	22	533
(役員取引等収益)	4	1,186	20	1,166
業務粗利益	5	7,758	△ 267	8,025
[コア業務粗利益]	5 - 10	[8,189]	[100]	[8,089]
資金利益	7	8,159	84	8,074
役員取引等利益	8	33	19	14
その他業務利益	9	△ 434	△ 371	△ 63
(国債等債券損益)	10	(△ 431)	(△ 367)	(△ 63)
経費 (除く臨時処理分) (△)	11	6,682	130	6,551
(人件費)	12	3,645	88	3,557
(物件費)	13	2,577	31	2,545
一般貸倒引当金繰入額 (△)	14	—	—	—
業務純益 5 - 11 - 14	15	1,075	△ 398	1,474
コア業務純益 6 - 11	16	1,506	△ 30	1,537
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	17	1,485	△ 51	1,537
臨時損益	18	△ 393	△ 376	△ 17
(不良債権処理額) (△)	19	849	777	71
(貸倒引当金戻入益)	20	289	70	218
(貸出金償却) (△)	21	1,293	860	432
(株式等損益)	22	453	439	14
経常利益	23	682	△ 774	1,456
特別損益	24	△ 30	△ 24	△ 6
税引前当期純利益	25	651	△ 799	1,450
法人税等合計 (△)	26	△ 225	△ 373	147
当期純利益	27	877	△ 425	1,302
< 信用コスト > 14 + 19 (△)	28	< 849 >	< 777 >	< 71 >

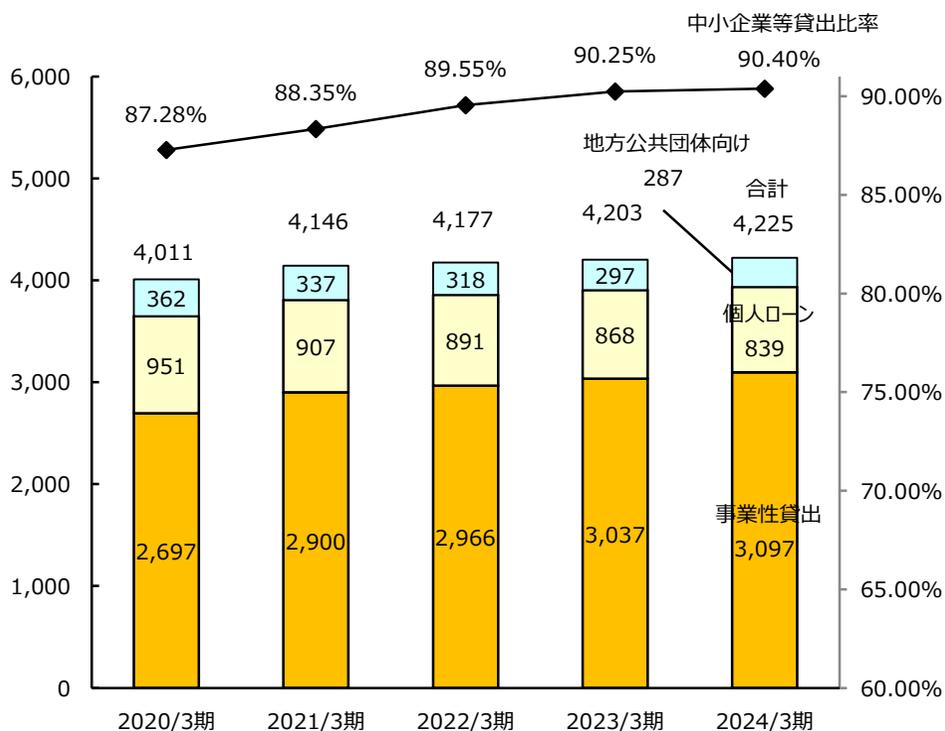
主な増減要因等

項目名	項目番号	当期実績 (百万円)	前期比 (百万円)	増減要因
経常収益	1	10,465	+578	貸出金利息(2)及び株式等売却益の増加等によるもの
コア業務粗利益	6	8,189	+100	貸出金利息(2)の増加等に伴い、資金利益(7)が増加したこと等によるもの
経費	11	6,682	+130	人件費(12)、物件費(13)及び税金の増加によるもの
コア業務純益	16	1,506	△ 30	コア業務粗利益(6)が増加したものの、経費(11)の増加が上回ったことによるもの
経常利益	23	682	△ 774	経常収益(1)が増加したものの、不良債権処理額(19)の増加が上回ったことによるもの
当期純利益	27	877	△ 425	経常利益(23)の減少等によるもの
信用コスト	28	849	+777	不良債権処理額(19)の増加によるもの

2. 貸出金の状況①

貸出金残高の推移

(単位：億円)



(単位：百万円,%)

	2024年3月末	2023年3月末比	2023年3月末
	貸出金残高①	422,506	2,202
事業性貸出	309,762	6,043	303,719
個人ローン②	83,958	△2,859	86,818
住宅ローン	62,970	△3,434	66,404
その他ローン	20,988	574	20,413
地方公共団体向け	28,785	△981	29,766
個人ローン貸出比率②÷①	19.87	△0.78	20.65
中小企業等貸出残高③	381,982	2,631	379,350
中小企業等貸出比率③÷①	90.40	0.15	90.25

・貸出金残高は個人ローンが減少したものの、事業性貸出の増加（前年度末比60億43百万円の増加）により、前年度末比22億2百万円増加し、4,225億6百万円となりました。

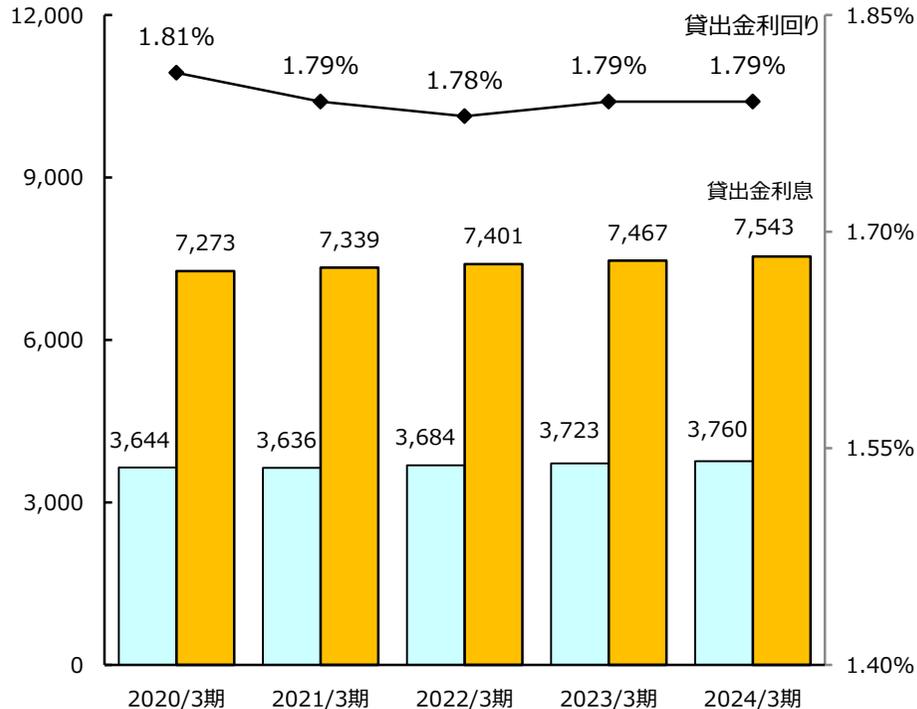
・個人ローンは住宅ローンの減少（前年度末比34億34百万円の減少）により、28億59百万円減少し、839億58百万円となりました。

・中小企業等貸出残高は、地域の中小企業のお客さまに対する円滑な資金供給に努めた結果、前年度末比26億31百万円増加し、3,819億82百万円となりました。

2. 貸出金の状況②

貸出金利息の推移

(単位：百万円)



棒グラフは各期(左:中間期、右:通期)の貸出金利息収入

(単位：百万円,%)

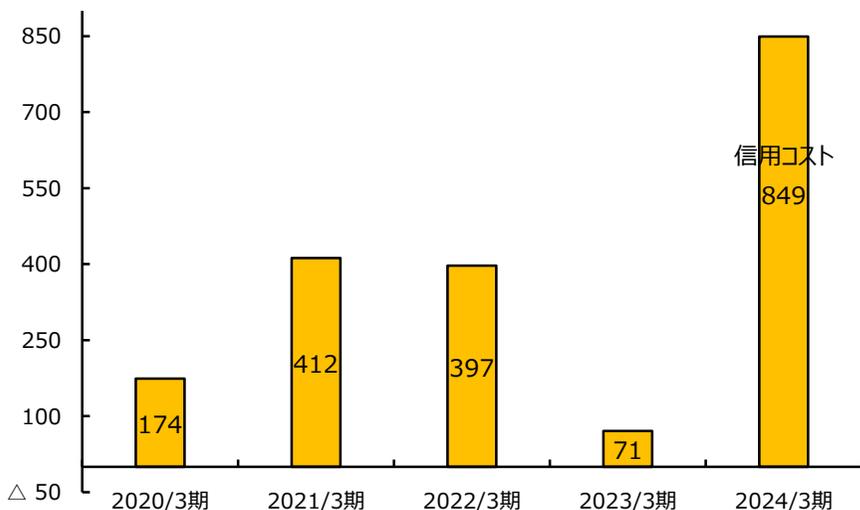
	2024年3月末		2023年3月末
		2023年3月末比	
貸出金平残	419,616	2,843	416,773
貸出金利回り	1.79	-	1.79
貸出金利息	7,543	76	7,467

- ・貸出金平残は前年度末比28億43百万円増加し、4,196億16百万円となりました。
- ・貸出金利回りは前年度末比変わらずの1.79%となりました。
- ・貸出金利息は貸出金平残の増加等により、前年度末比76百万円増加し、75億43百万円となりました。

3. 信用コストの状況

信用コストの推移

(単位：百万円)



信用コストの状況

(単位：百万円,%)

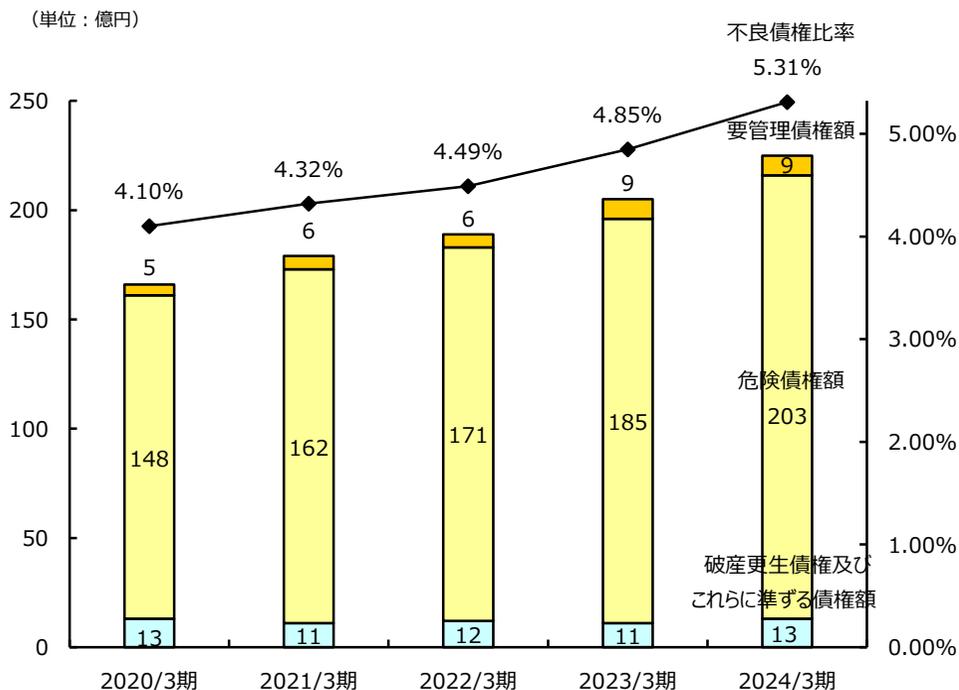
	2024年3月末		2023年3月末
		2023年3月末比	
一般貸倒引当金繰入額 ①	—	—	—
不良債権処理額 ②	849	777	71
貸出金償却	1,293	860	432
個別貸倒引当金繰入額	—	—	—
債権売却損益 (△)	1	△0	1
貸倒引当金戻入益 (△)	289	70	218
償却債権取立益 (△)	199	39	160
その他不良債権処理額	46	26	19
信用コスト ① + ②	849	777	71

(注) 不良債権処理額 = 貸出金償却 + 個別貸倒引当金繰入額 - 債権売却損益 - 貸倒引当金戻入益 - 償却債権取立益 + その他不良債権処理額

貸倒引当金戻入益が増加したものの、貸出金償却の増加等により、信用コストは前年度末比7億77百万円増加し8億49百万円となりました。

4. 不良債権の状況①

不良債権残高及び比率の推移



不良債権（金融再生法開示債権）の状況

(単位：百万円,%)

	2024年3月末		2023年3月末
		2023年3月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権額	1,311	177	1,133
危険債権額	20,323	1,742	18,581
要管理債権額	998	98	900
三月以上延滞債権額	—	—	—
貸出条件緩和債権額	998	98	900
不良債権残高計①	22,633	2,018	20,615
正常債権額	403,593	△284	403,877
総与信額②	426,227	1,733	424,493
不良債権比率①÷②	5.31	0.46	4.85
保全率	68.46	1.60	66.86

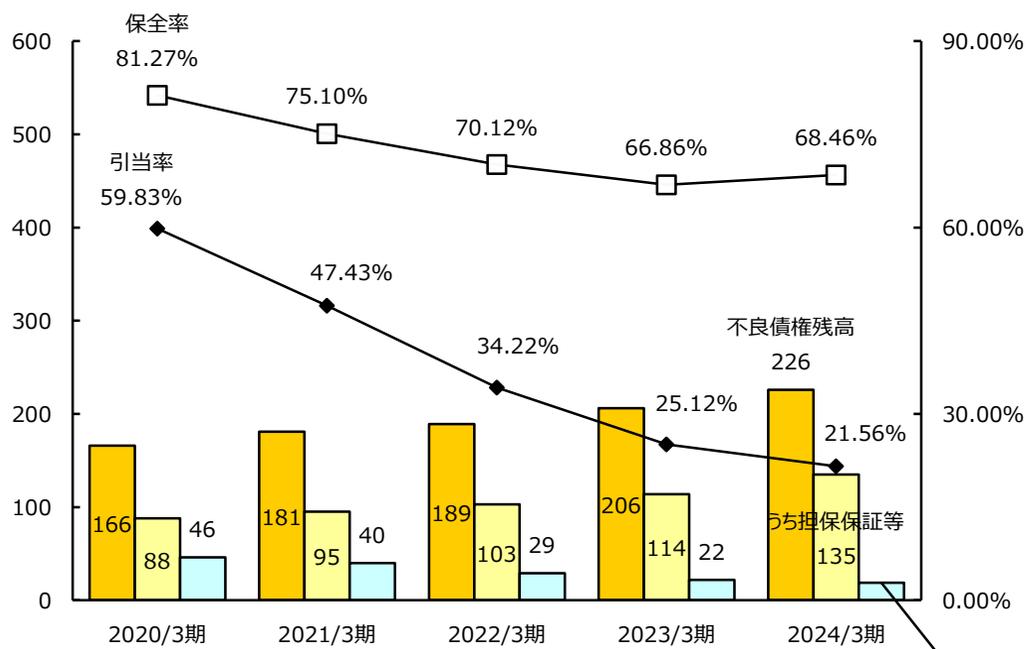
・お客様の事業の立て直しに向け、一歩先を見据えて、必要な引当金を計上した上で再生支援に積極的に取組んだ結果、不良債権残高は、前年度末比20億18百万円増加し、226億33百万円となりました。

・不良債権比率は、前年度末比0.46ポイント上昇し、5.31%となりました。なお、部分直接償却を実施しない場合の同比率は6.13%となります。

4. 不良債権の状況②

引当率等の推移

(単位：億円)



不良債権 (金融再生法開示債権) の保全状況

(単位：百万円,%)

	2024年3月末	2023年3月末	
		2023年3月末比	
不良債権残高 A	22,633	2,018	20,615
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,311	177	1,133
危険債権	20,323	1,742	18,581
要管理債権	998	98	900
保全額 B+C	15,495	1,710	13,785
担保保証等 B	13,532	2,039	11,493
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,215	197	1,018
危険債権	12,163	1,912	10,251
要管理債権	153	△70	223
貸倒引当金 C	1,962	△328	2,291
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	95	△19	115
危険債権	1,747	△348	2,095
要管理債権	120	38	81
引当率 C/(A-B)	21.56	△3.56	25.12
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	100.00	—	100.00
危険債権	21.41	△3.74	25.15
要管理債権	14.20	2.18	12.02
保全率 (B+C)/A	68.46	1.60	66.86
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	100.00	—	100.00
危険債権	68.44	2.00	66.44
要管理債権	27.36	△6.50	33.86

・不良債権の引当率は、前年度末比3.56ポイント低下し、21.56%となりました。

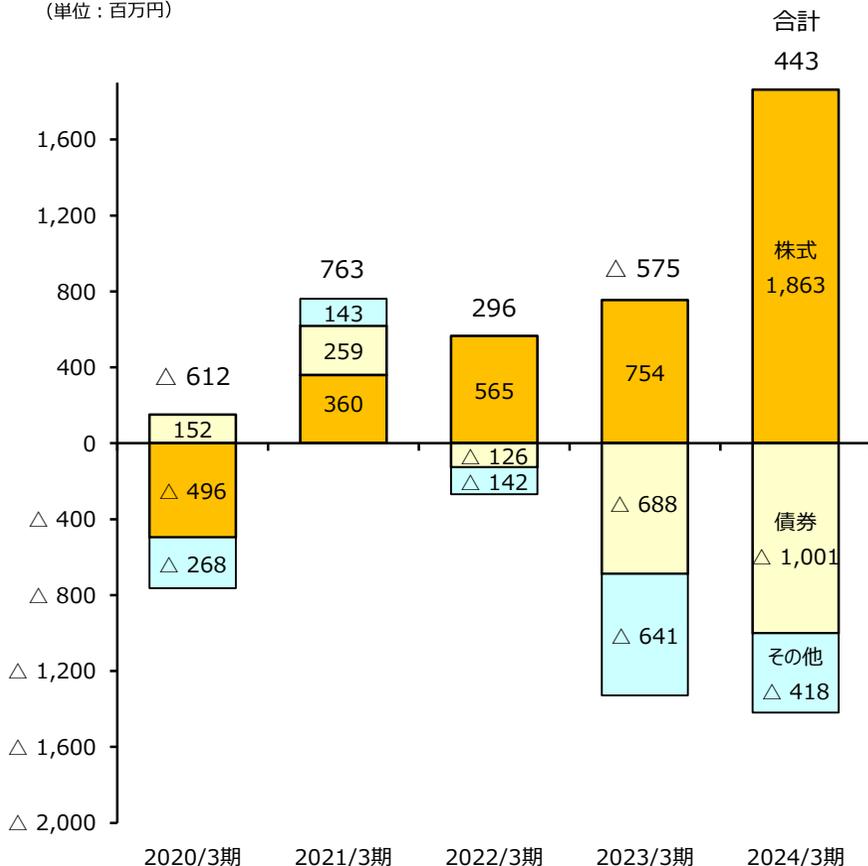
・不良債権の保全率は、前年度末比1.60ポイント上昇し、68.46%となりました。

うち貸倒引当金
19

5. 有価証券の状況①

有価証券評価差額の推移

(単位：百万円)



評価差額

(単位：百万円)

	2024年3月末		2023年3月末
		2023年3月末比	
有価証券	443	1,019	△ 575
株式	1,863	1,109	754
債券	△ 1,001	△ 312	△ 688
その他	△ 418	222	△ 641

・株式相場が堅調に推移したこと等により、株式の評価差額は18億63百万円の評価益となりました。他方、金利上昇に伴う債券価格の下落等により、債券の評価損は拡大し、10億1百万円の評価損となりました。

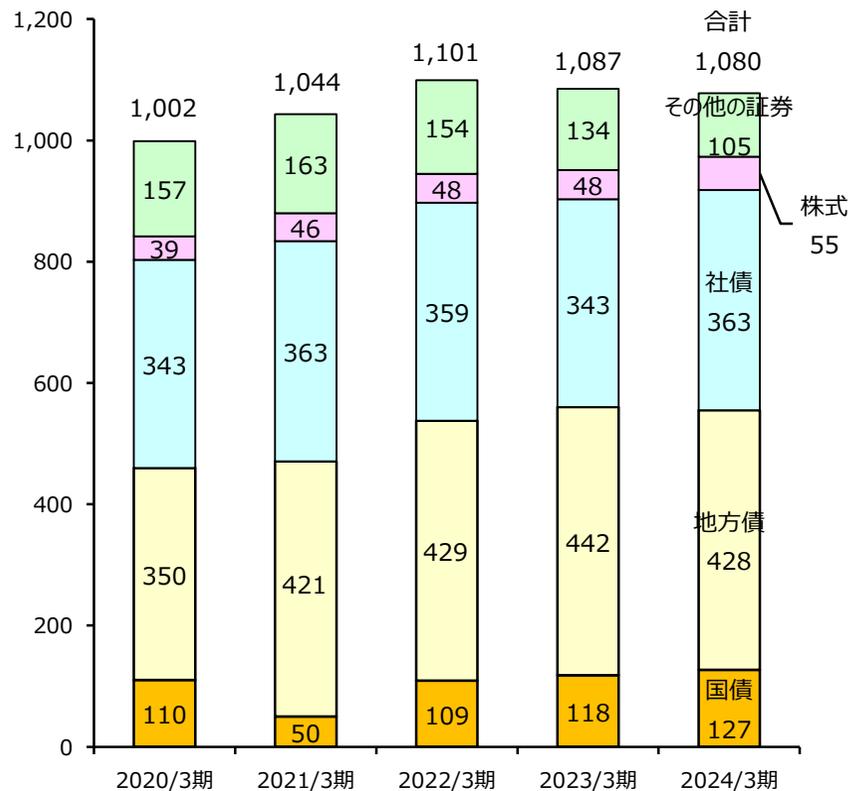
・その結果、有価証券の評価差額全体では前年度末比10億19百万円増加し、4億43百万円の評価益となりました。

・なお、債券のデュレーションは前年度末比0.72年短縮化され、3.42年となりました。

5. 有価証券の状況②

有価証券残高の推移

(単位：億円)



残高

(単位：百万円)

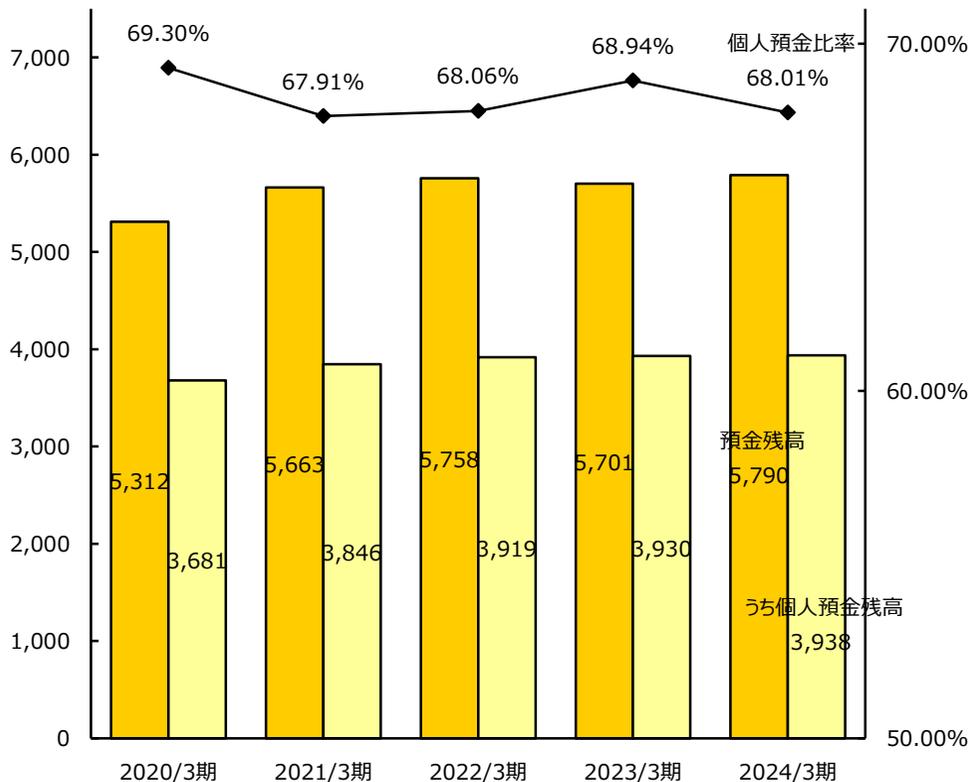
	2024年3月末		2023年3月末
		2023年3月末比	
有価証券	108,049	△ 716	108,765
国債	12,746	868	11,877
地方債	42,869	△ 1,363	44,232
社債	36,379	2,050	34,328
株式	5,506	656	4,849
その他の証券	10,547	△ 2,928	13,476

・有価証券残高は前年度末比7億16百万円減少し、1,080億49百万円となりました。

6. 預金（譲渡性預金を含む）の状況

預金残高の推移

(単位：億円)



(単位：百万円,%)

	2024年3月末		2023年3月末
		2023年3月末比	
預金残高 ①	579,033	8,933	570,100
個人預金 ②	393,856	800	393,055
法人預金	185,177	8,132	177,044
個人預金比率 ②÷①	68.01	△ 0.93	68.94
大分県内預金残高	559,410	9,743	549,666

(注) 1. 預金には譲渡性預金を含んでおります。

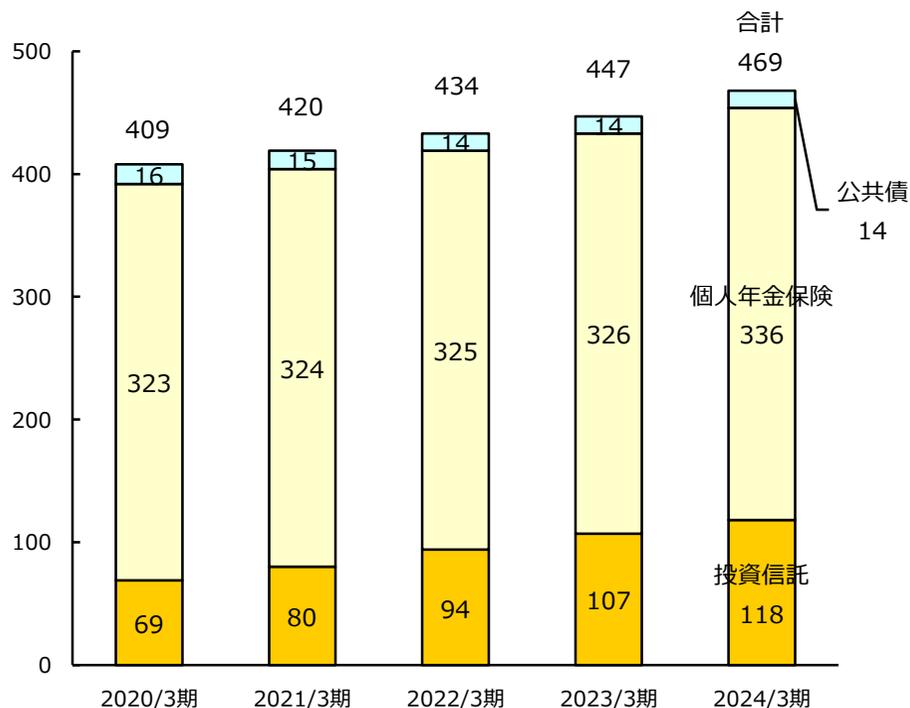
(注) 2. 「法人預金」 = 一般法人預金 + 金融機関預金 + 公金預金

・個人預金と法人預金がともに増加したことから、預金残高は前年度末比89億33百万円増加し、5,790億33百万円となりました。

7. 預り資産の状況

預り資産残高の推移

(単位：億円)



(単位：百万円)

	2024年3月末		2023年3月末
		2023年3月末比	
預り資産残高	46,974	2,180	44,793
投資信託	11,828	1,112	10,715
個人年金保険	33,678	1,021	32,657
公共債	1,467	46	1,420

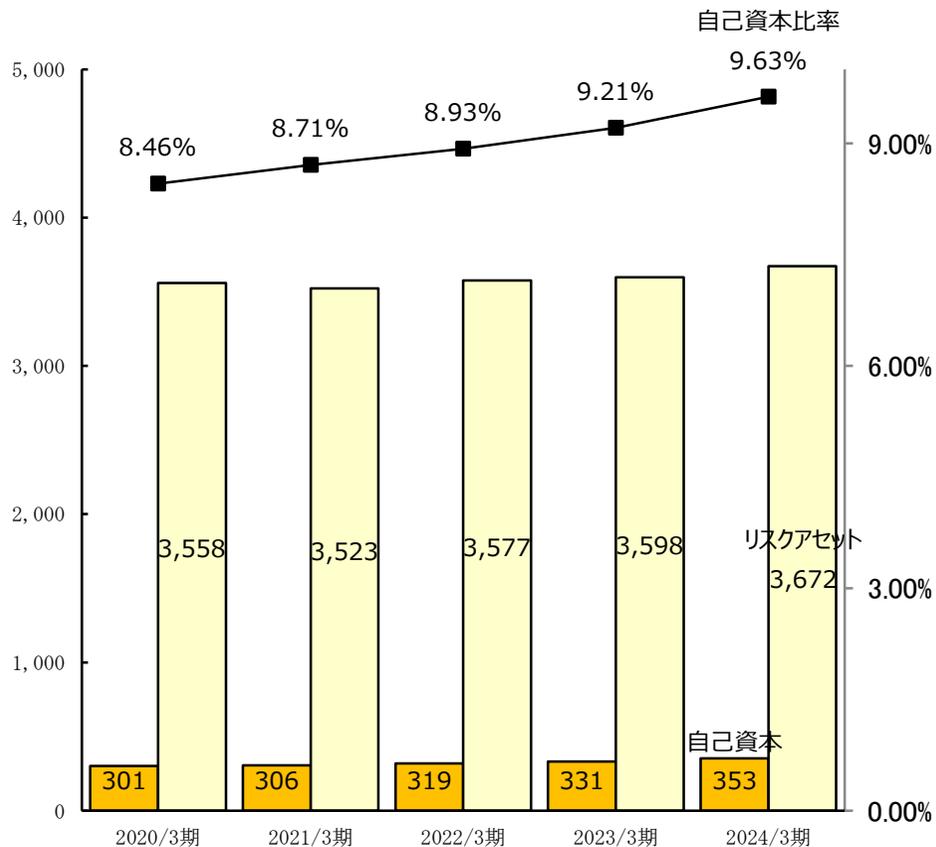
(注) 個人年金保険商品については、残高の把握が困難なことから、販売累計額を使用しております。

・投資信託残高は前年度末比11億12百万円増加、個人年金保険は同10億21百万円増加しました。

8. 自己資本比率

自己資本比率の推移

(単位：億円)



(単位：百万円,%)

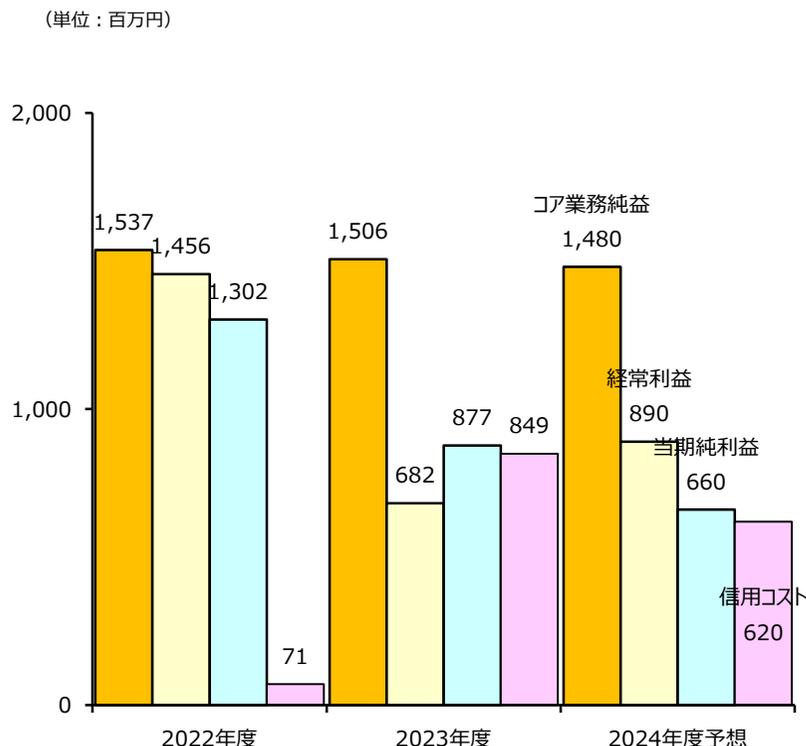
	2024年3月末 [速報値]		2023年3月末
		2023年3月末比	
自己資本比率 ① ÷ ②	9.63	0.42	9.21
自己資本 ①	35,382	2,205	33,176
リスクアセット ②	367,292	7,436	359,856

・リスクアセットが74億36百万円増加したものの、本年2月にF種優先株式を発行したこと等により、自己資本額が22億5百万円増加した結果、自己資本比率は前年度末比0.42ポイント上昇し、9.63%となりました。

9. 業績予想

業績（予想）の推移

(単位：百万円)



	2023年度 第2四半期 累計期間実績	2024年度 第2四半期 累計期間予想	2023年度 実績	2024年度 通期予想	増減
経常利益	467	520	682	890	208
当期（中間）純利益	321	420	877	660	△ 217
業務純益	547	830	1,075	1,580	505
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	547	660	1,075	1,450	375
コア業務純益	685	670	1,506	1,480	△ 26
信用コスト	246	170	849	620	△ 229
（一般貸倒引当金繰入額）	—	△ 170	—	△ 130	△ 130
（不良債権処理額）	246	340	849	750	△ 99

(注)業績予想については、当行が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

- ・2024年度の経常利益は金利上昇に伴う貸出金利息の増加等が見込まれるため、前年度末比2億8百万円増加の8億90百万円を予想しております。
- ・当期純利益は前年度末比2億17百万円減少の6億60百万円を予想しております。